

## イランをめぐる軍事行動の即時停止と外交による平和解決を求める決議

本市議会は、米国及びイスラエルによるイランへの軍事攻撃と、それに対するイランの報復攻撃に、断固抗議します。

中東地域における軍事衝突の激化は、世界の平和と安定を脅かすだけでなく、エネルギー供給や物価高騰などを通じて日本国民及び本市市民の生活にも重大な影響を及ぼす可能性があります。

軍事介入によって他国の政治体制を変更しようとすることは、国家主権と内政不干渉の原則に反し、たとえイラン政府による自国民への弾圧は国際人権法上許されないこととしても、これが認められれば、国際秩序は根底から崩壊してしまいます。

今こそ求められるのは、軍事力ではなく対話と外交による平和的解決です。

本市は、恒久平和を目指し、苫小牧市非核平和都市条例を制定しております。

よって、本市議会は、これ以上の犠牲を防ぐため、米国、イスラエル及びイランに対し、直ちに全ての軍事行動を停止すること、さらに、日本政府に対し、即時停戦と対話再開に向けた積極的な外交努力を主導することを強く求めます。

以上、決議する。

苫 小 牧 市 議 会